



法人の理念

キリスト教の愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護り、その人格の尊厳を尊重します。



《今月のねらい》〈テーマ〉だいすき

ぶどうぐみ

- ◎身の回りのことに興味をもつ。
- ◎友だちに関心をもち、一緒に遊ぶ。

はとぐみ

- ◎寒さに負けず、元気に過ごす。
- ◎保育者の仲立ちを通して、友だちと関わったり言葉のやりとりを楽しむ。

ひつじぐみ

- ◎身の回りのことを自分でしようとする。
- ◎保育者や友だちと一緒に表現遊びを楽しむ。

ゆりぐみ

- ◎自分の考えを伝えたり、友だちの思いを聞いたりして、一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ◎季節の変化に気付いたり、面白さを感じたりする。

ばらぐみ

- ◎イメージを膨らませながら、いろいろな表現あそびを楽しむ。
- ◎うがい・手洗いの習慣が身につく進んでする。

ほしぐみ

- ◎ひとつのことを友だちと協力して作り上げる経験を通し、達成感や充実感を感じる。
- ◎これまでに身につけたことを生活や遊びの中で発揮し、何事にも自信をもって取り組む。



寒い日が続いていますが、保育園では毎日こどもの元気な声や笑い声であふれています。1月にはみんなが楽しみにしていた大根の収穫が行われ、大きな大根がでてくる度に歓声があがっていました。そして空っぽになった畑には、チューリップの球根を植えました。次は色とりどりのチューリップが春の訪れを知らせてくれるでしょう。



お誕生日おめでとう

	日	月	火	水	木	金	土
2月の行事・特別プログラム	1	2	3	4	5	6	7
	体操教室	こどもの礼拝	お誕生会		英語で遊ぼう		
				集金日			
	8	9	10	11	12	13	14
			日舞(ほし)	祝日			発表会
	15	16	17	18	19	20	21
		体操教室	音楽教室 卒園サッカー大会(ほし)	スイミング (ばら・ほし)	キッドピクス 乳児検診	英語で遊ぼう	
	22	23	24	25	26	27	28
		祝日	こどもの礼拝 剣道・日舞(ばら・ほし)	スイミング (ばら・ほし)	キッドピクス お作法		
	29						

※3/14(土) 卒園式(ばらぐみ以下家庭保育協力日)
※3/30(月)31(火) 家庭保育協力日(新年度準備)

旭丘まぶね保育園
電話 976-1912
976-0001
FAX 975-3636
E-mail: asahi-hoikuen@koinonia.or.jp
http://www.mabune.com/index.html

♪今月の歌♪

イエスさまとよんだら

(賛美歌)

おにのパンツ(童謡)

雪(童謡)



【今月の聖書の言葉】

「私があなたを愛したように、
互いに愛し合いなさい」
(ヨハネによる福音書 15章12節)

幼い頃の記憶というものは、あいまいなこともありますし、すっかり忘れてしまっていることもあります。しかし、そのような意識もできないような「心の根っこ」の部分こそが、一人一人の人格の基礎になります。そして、日々の保育はその部分を豊かに育むことを目指して行われています。そこに必要なのは、まず自分が「愛される」という経験です。保育園や家庭で「生まれて来てくれてありがとう」「いっしょに居てくれてありがとう」と言われ、自分が受け入れられ、抱きしめられる経験が、自分が「愛された」経験として、子どもたちの「心の根っこ」を豊かに育てていくのだと思います。

「愛」という日本語からは、限られた相手との関係性が連想されますし、具体的にはどうすることなのか分かりにくいかもしれません。しかし、聖書の「愛」とは、もっと広く、具体的に「人を大切にすること」です。イエス様は「あなた方は互いに大切にしたいなさい」と言われる前に、「私があなた方を大切にしたいなさい」と言われました。一人だけで生きていられている人はいません。誰もが多かれ少なかれ、何かしら人から助けられ、大切にされているからこそ、今を生きていられるのだと思います。だから、不安に思わなくても大丈夫。大人も子どもも「大切にされた」経験があってこそ、周りの人も大切にすることができるのだと思います。保育園でもご家庭でも、互いに大切にすること日々を過ごしていきます。(チャプレン 牛田 匡)

意見箱も置いています

苦情解決委員会

苦情解決担当者 柳内 美帆子 入江 あゆみ
苦情解決責任者 有蘭 律子
第三者委員 畑 健次郎 花岡 尚樹 酒井 咲子

乾燥が気になる季節

子どもたちのスキンケアを忘れずに！

子どもの皮膚は荒れやすい！?



こどもの皮膚は大人に比べて皮膚の分泌が少ないため、乾燥しやすい、刺激にも敏感です。そのため空気の乾燥する季節は、カサカサになって白く粉をふいたようになることがあります。乾燥により、皮膚のかゆみが強くなって、かきこわしてしまうと、炎症を起こしてしまいます。十分に注意しましょう。スキンケアをしても、あまり改善が見られない場合は、皮膚科を受診するようにしましょう。